別紙様式１

令和５年度郷原中学校区研究推進計画

校番（５）（　呉市立郷原中　）学校
校長名　　宮内　雅美

1　学校教育目標
夢と志をもつ，自律した児童生徒の育成

2　目指す児童生徒像
気付き，考え，行動する郷原っ子

3　育成を目指す資質・能力（具体の姿）

設定した資質・能力	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等		学びに向かう力，人間性等	
	分かる・できる	考え・決める力	伝える力	進んでやる力	やり抜く力
後期	各教科等に関する知識や技能を活用することができる。	実社会や実生活に結びつく複雑な事象における課題について，多面的・論理的に考え，客観性・信頼性を吟味し，目標や計画などを決めることができる。	考えたことや決めたことなどを，根拠の適切さや論理の展開に注意して，伝え合うことができる。	目標を明確にし，課題の解決に向けて見通しをもって，計画的，協働的に実行することができる。	課題解決を願い，共通の高い目標を設定し，困難や失敗を乗り越えて，着実にやり抜くことができる。
中期		実社会や実生活に結びつく複雑な事象における課題について，考える技法を適切に使いながら筋道を立てて検討し，自分やみんなの目標や計画などを決めることができる。	考えたことや決めたことなどを，相手や目的に合わせて適切な方法で伝え合うことができる。	課題解決に向けて決めたことなどに，計画的，協働的に進んで取り組むことができる。	課題解決を願い，共通の目標に向かって，困難にくじけることなく努力してやり抜くことができる。
前期		思いや願いの実現や，取り組む課題について，比較したり分類したりしながら筋道を立てて検討し，自分がすることやみんなですることなどを決めることができる。	考えたことや決めたことなどを，内容に合った適切な方法で相手に伝えることができる。	思いや願いの実現や課題解決に向けて決めたことなどに，進んで取り組むことができる。	課題解決を願い，自分で目標を決めて，やるべきことを粘り強くやり抜くことができる。

4　研究主題等
(1)　研究主題

主体的に学び，自ら考え，判断し，表現できる児童生徒の育成
～関わり，つながる教育活動を通して～

(2)　設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）
呉市では「地域の人・もの・こと」と関わり，つながる中で新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指している。中でも授業改善の推進に重点をおき，子どもの問いを生かした「考える授業づくり」の充実を図るとしている。
しかし，12月に行った小学校児童学習アンケート「授業で自分の考えを発表するときは，自分の考えがうまく伝わるよう，工夫をしている。」の項目では，肯定的評価が65.7％であった。また，「授業では自分の考えを進んで伝えている。」の項目では，肯定的評価が67.8％で，5月よりも12月の方が4.7％も少なくなった。生徒アンケート「国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。」においても，肯定的回

答が37.0%にとどまっている。15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力，すなわち「自己を認識する力，自分の人生を選択する力，表現する力」を育むために，本中学校区では特に伝える力（表現力）と，それを支える考え・決める力（思考力）の育成を小中で連携して取り組む必要があると考える。

本中学校区は,保小中の連携が強く,９年間の義務教育とそれ以前の幼児教育を一貫して,地域で見守る体制が整っている。また，郷原の地域内には,地域の自然,文化遺産,歴史など様々な分野において専門性の高い人材が多く,ゲストティーチャーとして学校教育活動を協力的に支えてくださる環境が充実している。

そこで，地域とのつながりの中で，人と関わり，他者理解，自己理解を深めながら，自分の考えを相手に分かりやすく伝える力を育成することを目指し，研究主題を「主体的に学び,自ら考え，判断し，表現できる児童生徒の育成～関わり，つながる教育活動を通して～」と設定した。

(3) 研究仮説

人・もの・ことと関わり，つながる教育活動を通して，課題発見・課題解決的な学びを仕組むことで，主体的に学び，自ら考え，判断し，表現できる児童生徒を育成することができるであろう。

5　研究内容

(1) 授業づくり部会　→（知）

＜研究テーマ：考え・決める力（思考力）伝える力（表現力）の育成＞

○　カリキュラムマネジメントに基づいた授業づくり

○　課題発見・課題解決的な学びを促す授業づくり

○　振り返り等の中で自己認識を深める授業づくり

(2) 関わりづくり部会　→（徳・体）

＜研究テーマ：発達段階に応じた多様な関わりを通して生き方を考える教育活動の推進＞

○　人・もの・ことと関わり，つながる活動の充実

○　健康教育の充実（生活リズムチャレンジ週間）

○　防災教育・地域の学習材を生かした単元作りの充実

6　検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①　課題発見・解決的な学びを仕組むことができたか。	学力調査アンケート	「生活科・総合的な学習の時間では課題解決的な学習に取り組んでいる。」の項目での肯定的評価	小　８１．９％ 中　７９．５％	＋２％以上
	教職員アンケート	研究授業における教職員の相互評価値の平均（４段階評価）	小　２．６ 中　３．３	３以上
②　表現力を育成することができたか。	児童生徒の振り返りの記述	質の高まった振り返りを書くことができた児童の割合	５１．８％	６０％以上
	児童生徒アンケート	学習アンケート表現力の3つの項目に肯定的評価をした児童	小　６６．１％ 中　７０．５％	＋３％以上
③　児童生徒の学力が向上したか。	標準学力調査	学力調査の前年度との比較	＜国語科＞ 小　７３．８ 中　６１．８ ＜算数,数学科＞ 小　７３．５ 中　５４．４	前年度を上回る

7　推進体制等

(1) 推進組織

郷原中学校区校長会(郷原中・郷原小)

呉市教育委員会指導主事・運営委員会
（校長・教頭・教務主任・研究主任・小中一貫教育推進Ｃｏ・部会代表）

小中合同研究部会

授業づくり部会　　関わりづくり部会

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等

１２月１４日（木）英語（６年）

イ 小学校教科担任制等

なし

8　推進計画

月　日	内　容		担当
	郷原中	郷原小	
４月　６日(木)	小中で創る「未来の学び」実践事業　運営委員会		小学校
５月　１日(月)	小中一貫運営委員会 推進計画の作成（今年度の方向性の確認）		小学校
５月１０日(水)	小中一貫教育推進　合同研修会		小学校
５月２４日(水)	授業研究　郷原小学校　２年 指導・助言者　朝倉　淳教授		小学校
６月１４日(金)	運営委員会		小学校
６月２９日(木)	授業研究　郷原小学校　５年 指導・助言者　朝倉　淳教授		小学校
７月　４日(火)	運営委員会		小学校
８月１７日(木)	全体研修・指導案検討 講師　　朝倉　淳教授		小学校
９月１３日(水)	運営委員会		小学校
９月２０日(水)	授業研究　郷原中学校 指導・助言者　朝倉　淳教授		中学校
１０月１６日(月)	運営委員会		小学校
１１月　２日(木)	運営委員会		小学校
１１月１７日(金)	小中で創る「未来の学び」実践事業研究会		小・中学校
１２月１５日(金)	運営委員会		小学校
１月３０日(火)	授業研究　郷原中学校 指導・助言者　朝倉　淳教授		中学校
	全体研修（今年度の成果と課題，次年度に向けて）		小学校

9　その他

・オープンスクール（８月２４日）中学生による６年生への説明と模擬授業・部活見学・体験
・陸上教室（１０月２０日）中学校による小学生への実技指導
・クリーン活動（１０月２３日）地域の清掃活動を保小中で実施　・小中一貫教育だより

１０　研究構想図

学校教育目標

夢と志をもつ，自律した児童生徒の育成

目指す子供の姿

気付き，考え，行動する郷原っ子

研究主題

主体的に学び，自ら考え，判断し，表現できる児童生徒の育成
～関わり，つながる教育活動を通して～

研究の仮説

人・もの・ことと関わり，つながる教育活動を通して，課題発見・課題解決的な学びを仕組むことで，主体的に学び，自ら考え，判断し，表現できる児童生徒を育成することができるであろう。

研究内容

＜授業づくり部会＞
- カリキュラムマネジメントに基づいた授業づくり
- 課題発見・課題解決的な学びを促す授業づくり
- 振り返りの中で自己認識を深める授業づくり

＜関わりづくり部会＞
- 人・もの・ことと関わり，つながる課題発見・課題解決的な学びの充実
- 健康教育の充実（生活リズムチャレンジ週間）
- 防災教育の充実

研究の検証のための指標および目標値

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①課題発見・解決的な学びを仕組むことができたか。	学力調査アンケート	「生活科・総合的な学習の時間では課題解決的な学習に取り組んでいる。」の項目での肯定的評価肯定的評価	小 ８１．９％ 中 ７９．５％	＋2％以上
	教職員アンケート	研究授業における教職員の相互評価値の平均	小 ２．６ 中 ３．３	3以上
②表現力を育成することができたか。	児童生徒の振り返りの記述	質の高まった振り返りを書くことができた児童生徒の割合	５１．８％	60％以上
	児童生徒アンケート	学習アンケート表現力の3つの項目に肯定的評価をした児童	小 ６６．１％ 中 ７０．５％	＋3％以上
③児童生徒の学力が向上したか。	標準学力調査	学力調査の前年度との比較	＜国語科＞ 小 ７３．８ 中 ６１．８ ＜算数,数学科＞ 小 ７３．５ 中 ５４．４	前年度より上回る